

令和4年7月22日(金)

あさひの日だまり

NO.15

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～1学期本当にお世話になりました。ありがとうございました～

入学式早々の学校閉鎖がありました。その後も学級閉鎖によるお休みがあったり、ご家族や本人の感染による欠席や、接触者となったことによる配慮でお休みをして下さったりと、1学期の間、感染症への対応では本当にお世話になりました。ご家庭からの丁寧な連絡により、学校としましては、ご家庭と相談しながら対応を進めることができました。心から感謝いたします。また、感染された児童やご家族に対しても、常に心温まる対応をしてくださいました。重ねて感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症も他の病気と同様に誰でもかかる可能性のある病気の一つです。感染症の発症に対しては、本人の体の回復を何よりも大切に考えて、安心して療養できるように最大限の配慮をしていこうと思います。2学期も引き続きご家庭と学校が一緒になって、児童の安全と安心を大切にしていけますようによろしくお願いいたします。

感染も収まらぬまま夏休みを迎えます。家族旅行や大人数が集まる機会も増えることと思います。下記のことに特にご留意いただき、楽しい夏休みとなりますようお願いしております。

- 1 オクレンジャーへは休み中も継続して入力してください。健康面で変化があった時点で入力し直していただければ、学校で入力を確認し、必要に応じてご家庭へ連絡を取らせていただきます。
- 2 健康面も含め、休み中に何か心配なことが起きましたら、遠慮なく学校(電話 0266-41-0066)までご連絡ください。なお、学校に連絡が取れない場合は辰野町教育委員会(電話 0266-41-1111)へ連絡いただければ学校職員とつながっていただけます。
- 3 人ごみや屋内の催し物を訪れるときは、皆さんでマスクの着用をお願いします。
- 4 帰宅後等の手指消毒の継続をお願いいたします。

～素敵な経験ができる夏休みでありますように～

ご家族の皆さんのお力を借りて

夏休みは、児童がいろいろなことに挑戦できるチャンスです。素敵な経験ができますように祈っています。ご家族にお願いがあります。お子さんが「～をしてみたいんだよね」と話したら、できる限りのバックアップをお願いします。危険なことや、多額のお金がかかることは「ダメです!」と断ってください。ただ、子どもの力でできそうなことで、自分で考えて頑張りたいと申し出たことは、ぜひ挑戦させてあげてください。場合によっては、「この休みは、何か自分で決めて一つのことに挑戦できるチャンスかもよ!」と声をかけてみてあげてください。私は、自分で決めて考えて行動を起こす生き方の先に、生きることの意味というか、楽しさがあるように思っています。そして、何かに挑戦した後は、自分への「自信」が芽生えるに違いないと思っているのです。そんな経験のスタートになる夏休みを経験できたならなんてすばらしいだろうと思います。ご家族の皆さんのご協力をぜひお願いします。

2学期スタートの8月19日(金)に笑顔の児童と会えることを願って、終業式でお話をさせていただきました。終業式でお話したことを書きました。よろしければ目を通していただけると幸いです。

1年間は1学期・2学期・3学期の3つの学期に分かれています。今日で、一番初めの1学期が終わります。みなさん、1学期本当によく頑張りました。これから5分間。時間をもらって先生がお話をします。お願いします。

毎日元気に登校して勉強も頑張った人。本当によく頑張りました。

学校へ来るのがいやだな～と思いながら、お家の人に送ってもらったり、たまに休んじったりしながら、ここまで頑張ってきた人。ちゃんと今日を迎えました。今日まで本当によく頑張りました。

宿題を忘れたり、持ち物を忘れたりしてしゅっちゅう先生に怒られた人。「今日は大丈夫かな?」って心配しながら学校へ来た

ことと思います。心配な気持ちを抱えながら頑張って学校へ来たんです。その頑張りを先生は褒めてあげたいと思っています。

姿勢が悪かったり、授業中おしゃべりをしたりして先生に怒られた人、一生懸命我慢して授業を頑張ったんですよね。立派でした。2学期は怒られる回数が少し減るといいですね。

具合が悪くなったり、ケガをして学校を休んだ人たくさんいましたね。病院やお家で寂しかったり、不安だったりに違いありません。自分の力でしっかり乗り越えました。よく頑張りましたね。

先生は、朝玄関でみんなと朝の挨拶をしています。先生が挨拶をすると、大きな声で挨拶してくれる人がいます。みんなの元気な声をもらって先生も元気になります。

恥ずかしそうに、下を向いてそのまま玄関に入っていく人がいます。心の中で「おはようございます」って言っているんです。ただちょっと恥ずかしくて声にできないんですね。そういう人には先生が元気を送っています。元気がたまったら、またいつか元気を先生に送り返してください。

あいさつについて、ある人のお話をします。その人は、先生が挨拶をすると小さな声で「おはようございます」と返してくれていた。いつも、先生が先にあいさつをして、次にその人が小さな声で挨拶を返してくれるんです。ある日のことです。先生の後ろから「おはようございます」という小さな声が聞こえました。振り返ってみると、そこには、いつも小さな声で挨拶を返してくれていた人が立っていました。私は、初めて自分からあいさつしてくれたその人の声を聞きました。

先生は嬉しくなりました。何が嬉しいかって、誰かに言われたんじゃないのに、自分からあいさつをしてみようって思ってあいさつしてくれたことがとても嬉しかったんです。そして、すごいなってとても感心しました。

みなさん明日から夏休みになります。どんなことでもいいです。何か一つでもいいです。誰かに言われるんじゃなくて、自分で考えて行動してみてください。

先生は、小学校6年の夏休み、自分で考えて、「目覚まし時計を買ってくれ」と親にお願いをしました。一緒に店に行って、リリリリーンとすごい音がするやつを買ってもらいました。先生はそれまで親に起こしてもらってようやく布団から脱出していました。先生は何とかして「自分一人で起きてみたい」と思ったんです。目覚まし時計を買ってもらった夏休み、先生は初めて自分一人で起きることができるようになりました。

おかげで今でも先生は一人で起きることができています。

「毎日玄関の掃き掃除をやるね」「毎朝庭のお花に水をあげるよ」「朝6時から30分近所をランニングしてみるぞ」「今回の休みこそは宿題を最後の日の方でためないでやり切ってみせる」「うちの人をお願いして、自転車で今まで行ったことのない遠くまで一緒にサイクリングに出かけてみたい」

自分で考えて、行動すること。それを挑戦といいます。明日から挑戦の夏休みが始まります。

先生は毎日、みんなが元気でいますようにと祈っています。

休み明け、またここで元気な顔のみんなと会いましょう。先生のお話はこれで終わりです。

～ちょっとした感動でした～

セミの脱皮に出会いました

私事で申し訳ありません。連休中の2日目の早朝、畑のアスパラの先でセミが脱皮をしていました。緑色の植物の中で、ひと際白色が輝き、すぐに気が付きました。羽が透明でしたのでミンミンゼミかなと思いました。(後から3年生に写真を見せたらこれはアブラゼミだね。脱皮したときは羽が透明なんだよと教えてくれました) 数時間後にはセミの形になり、ぶら下がって動いていました。身の危険を避けるため、夜のうちに脱皮するはずだったのに、朝までかかってしまったようです。何度か足を運びましたが、数時間後には姿が見えませんでした。無事に飛び立つことができたのでしょうか。



セミの抜け殻は家の周りにたくさんあります。きつこういった光景が深夜ひっそりとあちこちで繰り返されているに違いありません。青白く輝くセミの姿は、神秘的で、なんだか別世界の出来事のように思われました。児童たちにとって、夏休みはいつもと違うこんな世界と出会えるチャンスでもあります。